

項目	内容
名称	ドナリエラ、デュナリエラ [英]Dunaliella [学名]Dunaliella bardawil Ben-Amoz et Avron、Dunaliella salina (Dunal) Teodor.
概要	ドナリエラは、緑藻綱オオヒゲマワリ目 の単細胞藻類の一属。2本の運動性鞭毛を有し、15%以上の塩濃度の湖に分布する。全藻から抽出されたβ-カロテンが、着色料や栄養強化剤などとして利用されている。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デュナリエラ (ドナリエラ/ドナリエラ油) : 「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。 <p>■ 食品添加物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デュナリエラカロテン (藻類カロチン/藻類カロテン/デュナリエラカロチン/ドナリエラカロチン/ドナリエラカロテン/抽出カロチン/抽出カロテン/カロチノイド/カロチノイド色素/カロチン/カロチン色素/カロテノイド/カロテノイド色素/カロテン/カロテン色素) : 強化剤、着色料 <p>■ 海外情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米国では、GRASに該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・カロテノイド (β-カロテン) を含む (101)。
分析法	-

有効性

循環器・呼吸器	RCT ・運動誘発性喘息患者38名(平均16.3歳、イスラエル)を対象とした二重盲検クロスオーバー無作為化プラセボ対照試験において、 <i>Dunaliella bardawil</i> 750 mg (β-カロテン66 mg相当含有) /日を7日間摂取させたところ、運動後の1秒率低下抑制が認められた (PMID:10400482)。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
ヒトでの評価 脳・神経・感覚器	RCT ・網膜色素変性患者29名(平均46.7±16.9歳、イスラエル)を対象とした二重盲検クロスオーバー無作為化プラセボ対照試験において、 <i>Dunaliella bardawil</i> 300 mg (β-カロテン20 mg相当含有)/日を90日間摂取させたところ、網膜電位検査における暗順応時のb波振幅の上昇が認められた。一方、明順応時の振幅、視野、最高矯正視力に影響は認められなかった (PMID:23700011)。 ・健康な成人60名(試験群30名、平均21.5±0.54歳、日本)を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、 <i>Dunaliella bardawil</i> 250 mg (β-カロテン10 mg含有)/日を30日間摂取させたところ、視力の改善が認められた。一方、視機能の自覚症状15項目に影響は認められなかった (2019173914)。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(78) 食品添加物インデックスPLUS [第4版] 和名・英名・E No.検索便覧 (公社) 日本輸入食品安全推進協会 中央法規 (101) 健康・機能性食品の基原植物事典 中央法規 (102) 学名でひく食薬区分リスト 薬事日報社 佐竹元吉 監修 (2019173914) 薬理と治療. 2018;46(9):1579-90. (PMID:23700011) JAMA Ophthalmol. 2013 Aug;131(8):985-92. (PMID:10400482) Ann Allergy Asthma Immunol. 1999 Jun;82(6):549-53. (103) U.S. Food & Drug Administration GRAS Notices GRN No.351